

NTT
コムウェア

キャリアグレード×グリーンなデータセンターとITIL[®]が支えるクラウド・サービス「SmartCloud」

次世代データセンターとITサービスマネジメントを融合

今や社会基盤として人々の生活やビジネスを支えているICTは、利用形態が多様化するとともに仮想化技術等の実現技術が高度化し、システム運用業務は複雑化している。この動きと並行して、景気後退によりビジネス環境が大きく変化し、これまで以上にコストの削減、ビジネスの即応力、ITガバナンスの強化が強く求められている。このような状況から、多くの企業は情報システムの分散管理（個別最適）を見直し、事業継続やサービスレベル管理もあわせて実現できる、データセンターへの統合（全体最適）を進めている。

ミッションクリティカルな情報システムを支えてきたNTTコムウェアは、コスト、スピード、ガバナンス

の最適化を促す次世代データセンター・ソリューションとして高度化とグリーン化に取り組んできた。（図1参照）。また、それらを支える取組みとしてITILを導入、システム運用業務の全体最適化を進めることでサービス品質の向上を図り、その評価としてITILを基に作られたITサービスマネジメントの国際認証規格であるISO/IEC20000の認証を取得した。ビジネス要求の変化に対応して、品質を維持・向上させながらコストを低減していく、これらの取組みから生まれたのが、エンタープライズ・クラウド・サービス「SmartCloud（スマートクラウド）」である。

見える化と社内実績を基にしたエンタープライズ・クラウド・サービス

「SmartCloud」について、NTTコムウェア(株) サービス事業本部



NTTコムウェア(株) サービス事業本部 サービスプロバイダ部 部長 尾西 弘之氏

サービスプロバイダ部の尾西弘之部長は次のように語っている。

「当社では、国内最高レベルのPUE（*）値を目標に、環境に配慮したデータセンターと、ISO/IEC 20000の認証を取得した高品質なITサービスマネジメントを提供してきました。これらの実績を基に、標準化、統合化、仮想化、自動化などの

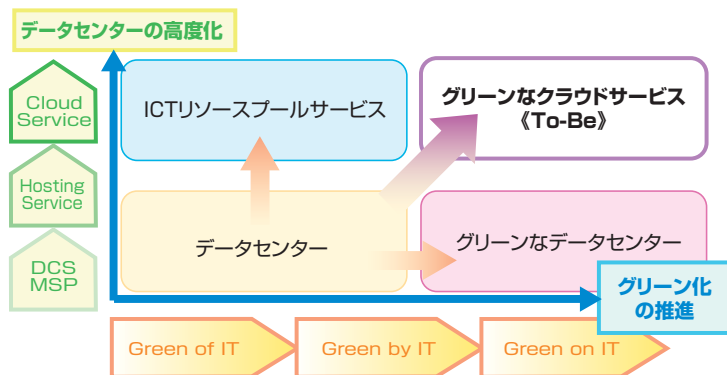


図1 NTTコムウェアが考える次世代データセンター



データセンターのサーバールーム

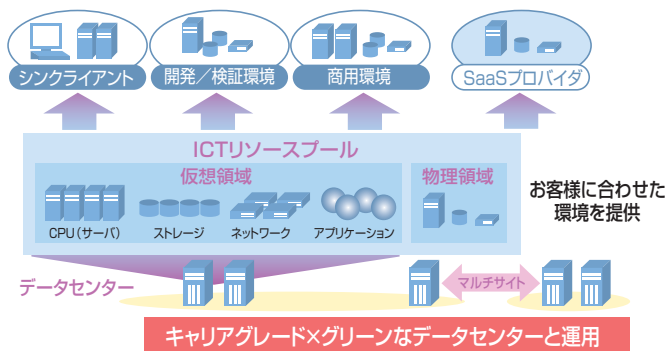


図2 SmartCloudのサービスイメージ

構築・運用技術を組み合わせ、お客様がICTリソース（サーバやストレージ、ネットワークなどの情報通信資源）を柔軟かつ効率的に利用できるクラウド・コンピューティング環境を実現するのが『SmartCloud』です（図2参照）。多くの企業は、クラウド・サービスが“雲の中”であることに不安を抱いていますが、『SmartCloud』では、これまでのデータセンター同様にデータの所在、サービスレベル、可用性などの“見える化”を実現します。当社では、デスクトップサービス（シンククライアント）など、社内システムの『SmartCloud』への移行実績を基に、エンタープライズ・クラウド・サービスを順次提供していきます。」

*** PUE (Power Usage Effectiveness)**
：データセンターの電力利用効率を示す指標。1に近づくほど効率が良い。

■ 耐災性、セキュリティ、グリーンに優れた次世代データセンター

「SmartCloud」は、NTTコムウェアが誇る“キャリアグレード×グリーン”なデータセンターで運用される。その主な特長は次の通りである。

◆**耐災性**：震度7の地震にも耐えられる耐震構造や災害に備えた電力設備（2系統受電、UPS、自家発電設備）の採用により、優れた耐災性を確保。また、金融情報システムセンター（FISC）の「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準」にも準拠している。

◆**セキュリティ**：データセンタービルの敷地からハウジングスペースまで、段階的に設置したセキュリティシステム（フラッパーゲート、生体認証など5段階）により、重要なシステムを守る。

◆**グリーン**：高効率照明、高効率気流設計技術（冷気暖気キャッピング等）の採用など、「PUE=1.3」を目指した国内最高レベルのグリーンなデータセンター。データセンターの省電力化を推進する非営利団体「グリーン・グリッド」にも参画している。

◆**運用**：NTTグループの通信インフラや基幹システムの運用で培った経験と実績を持つ「FSC24」が高品質な運用を実施。ISO/IEC20000の取組みに加え、ITサービスにおける「設計→移行→運用→改善」のプロセスを継続的に行うITIL V3のラ

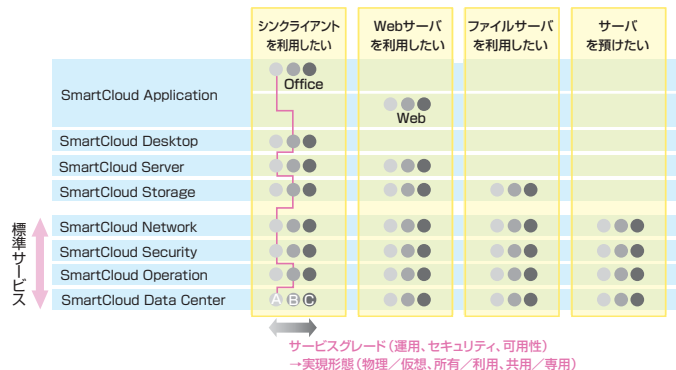


図3 サービスメニューとサービスグレード

イフサイクル・アプローチを導入して、変化の多いクラウド・サービスに対応する。

■ 利用形態を選択できるハイブリッド型ソリューション

図3は、「SmartCloud」のサービス提供イメージである。物理/仮想、所有/利用、共用/専用、サービスグレードなどの利用形態に応じて、各種サービスラインナップから選択できるようになっている。

「ハウジングやホスティングといったこれまでの物理的サービスから、仮想化技術により実現したICTリソースプールまで、システム特性やライフサイクル、サービスレベルに合わせて利用形態を選択できるハイブリッド型のソリューションとして、お客様のICT戦略に合わせてご利用いただくことが可能です。」（前出、尾西部長）

※ SmartCloud（スマートクラウド）は、NTTコムウェア株式会社の商標です。
※ FSC24は、NTTコムウェア株式会社の登録商標です。

● お問い合わせ先 ●

NTTコムウェア株式会社
サービス事業本部 サービスプロバイダ部
URL : <http://www.nttcom.co.jp/smartcloud/>